

TEAM

BEYOND



パラスポーツで 会社を変えよう



東京都

TEAM BEYOND パラスポーツ支援ガイド

パラスポーツの応援プロジェクト

「TEAM BEYOND」に是非ご参加ください



TEAM BEYOND とは

「TEAM BEYOND」は、パラスポーツを応援する人を増やす東京都のプロジェクトです。

障がいのある人もない人も、女性も、男性も、子供も、高齢者も、いきいきと生活できる、活躍できる、多様性を持った都市「ダイバーシティ」。「TEAM BEYOND」は、この「ダイバーシティ」を実現していくことを目標に、様々な視点からパラスポーツの魅力を発信していきます。

『パラスポーツで会社を変える』

～パラスポーツと共に歩もう～

パラスポーツに興味はあるけれど、
企業としてどのように関わればよいのか分からない。
企業にとってどんなメリットがあるの？

こうした疑問の解消に向けて、参考となる企業の取組事例や
パラスポーツの支援方法などを紹介しています。

これならできる！やってみよう！を見つけられる場にしていきます。

パラスポーツをきっかけに、
よりよい社会を一緒につくっていきましょう！

支援方法

企業・団体の様々な取組・支援内容をジャンル別に紹介しています。
どのような関わり方ができるのか、方向性のヒントが得られます。

1 観戦会

組織としてパラスポーツを観戦・応援することで社員同士の絆を深め、社員のパラスポーツへの興味を喚起するとともに、ダイバーシティの推進につなげます。

まずは、行って、観て、
体感してみよう！



2 体験会・講習会

パラスポーツ体験会や講習会を通して、社内でのパラスポーツ振興や理解啓発につなげます。

社内の研修やレクリエーションで
取り入れられるかな？



3 ボランティア

競技団体主催の大会やイベント運営への協力等により、競技やアスリートとの関わりや、地域との交流のきっかけが生まれます。

どのような関わり方が
あるんだろう？



4 協賛

競技団体や大会への協賛により、競技団体運営の強化や選手の競技力向上、パラスポーツの普及啓発につなげます。

協賛のメリットを
考えよう！



5 アスリート雇用

アスリートの競技活動と職業生活のキャリア支援や、雇用したアスリートが
出場する大会に社員が応援に行くなどで、社員の団結力の向上を図るとともに
パラスポーツをより身近なものとしします。

一緒に働く
方法を考えよう！



6 技術支援・製品開発

企業・団体が持つ独自の技術を活用した競技用具の開発など、パラスポーツ
の振興に役立つ技術（サービス）を提供することで、競技力向上や大会運営
等の効率化につなげます。

自社のサービスと
結びつくことを見つけよう！



7 施設貸出

企業・団体が保有する体育施設などを活動場所として競技団体、選手、パラスポーツを実施するクラブなどに貸し出すことで、競技力向上・パラスポーツの普及につなげます。

あの施設が
活用できるかも…？



企業の取組事例

パラスポーツ支援企業・団体へのインタビューを通して、実際の活動風景やパラスポーツ支援に対する想いをお届けします。全文は TEAM BEYOND ウェブページにて掲載しております。

東京ガス株式会社



多彩な取組と有益な情報で共生社会の実現を目指す

パラスポーツ支援を共生社会実現へのきっかけと捉え、社内外向けイベントをはじめ、社内ポッチャ大会、オリジナルポロシャツ製作、情報紙発行など多彩な活動を展開。社内を巻き込むオリジナル制度「オリパラアンバサダー」に任命された方々を中心に、パラスポーツを盛り上げています。



東京ガス(株) 芳賀さん

きっかけ

当社では、パラスポーツに触れることで社会には多様性があることを自然と理解できるようになると考え、パラスポーツ支援を入口に、共生社会を実現したいというビジョンを掲げています。多彩な取組を通してパラスポーツと共生社会への理解を促し、2020年以降も見据えた挑戦を続けています。

課題

2016年に東京2020オリンピック・パラリンピック推進室を開設した当初は、手探り状態でした。比較的取り組みやすいパラスポーツの観戦会や体験会などから始めましたが、当時は情報がほとんどなかったため何をしたらいいのか分からず、模索しながら活動を進めました。

見えてきたもの

一歩踏み出すためには、まずは接点を作り、情報を得ることが大切です。先日参加したTEAM BEYONDのワークショップでは、雇用したパラアスリートの対応や教育、引退後のキャリアなど、先駆的な取組をしている事例を伺いました。まだ顕在化していない課題についての予備知識が得られることもあり、いい勉強になっています。

東京ガス株式会社/担当部署:東京2020オリンピック・パラリンピック推進部コミュニケーション推進グループ/所属人数:13名/住所:東京都港区海岸一丁目5番20号/電話:03-5400-3813 (代表)

NTT(日本電信電話株式会社)



築き上げた独自の取組は未来へ引き継ぐべきレガシー

きっかけ

企業としての成長と、自社のICT活用で社会の発展を目指すNTT(日本電信電話)では、今後はより少子高齢化が進み、ダイバーシティやインクルーシブ、ユニバーサルデザインといった考え方がますます重視されるようになっていくと思っています。

課題

今後はどのような製品・サービスを作れば売れるのか、インクルーシブ社会でパートナーとして選ばれ続ける企業となるために必要なことは何か。社会の変化に適応していくため、取り組んでいることの一つが、パラスポーツ観戦活動です。

見えてきたもの

社会の変化に適応していくには、障がいのある当事者の方々ががんに触れることで得られる感覚が必ず必要になる、と思っています。社員の子どもを巻き込んだ「キッズプログラム」は大変好評で、次世代を育てる意味でも意義のあるものではないかと考えています。



左から、日本電信電話(株) 永谷さん・吉川さん、NTTクラリティ(株) 田中さん

日本電信電話株式会社/担当部署:新ビジネス推進室2020渉外担当/所属人数:8名/住所:東京都千代田区大手町一丁目5番1号大手町FSイーストタワー/電話:03-6838-5111 (代表)
NTTクラリティ株式会社/担当部署:営業部2020推進PT/所属人数:8名/住所:東京都武蔵野市緑町三丁目9番11号/電話:0422-50-8347 (営業部)

社員アスリートの田中さん(写真右)は「僕自身、ほかのグループ企業に所属しているパラアスリートの存在を知ることができて励みになっています。また、選手は声援が大きいほど力が湧くものなので、グループ全体として応援していただけることをうれしく思います。」と語ってくれました。



観戦会



体験会・講習会



ボランティア



協賛



アスリート雇用



技術支援・製品開発



施設貸出

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



「ハートにコストはかからない」地域密着型の心のバリアフリー

「パラスポーツ支援を通じて、障がいのある方の自立支援を」との考え方のもと、2014年4月からパラスポーツ支援をスタート。14名のパラアスリートを雇用し、パラスポーツ体験や講演会の講師としても派遣し、地域へ貢献。このような活動から、4年連続で東京都スポーツ推進モデル企業にも選ばれています。



あいおいニッセイ同和損害保険(株) 倉田さん

きっかけ

パラスポーツはどれも迫力があって面白いですが、社員たちがいち早く集中して長時間観戦したり、心から応援するためには、何かが足りないと思いました。観戦を重ねるうちに、思い入れを持って応援できる対象が必要なのだと気づき、社員が自然と応援したくなるアスリートを雇用しようと思い立ちました。

課題

アスリートの雇用に限らず、スポーツにはともすれば莫大な予算を投じがちですが、それでは万が一の際、真っ先に予算を切られてしまう恐れがあります。それを避けて少しでも長くパラスポーツへの支援を続けるには、できるだけコストを抑えながらコツコツと活動することが必要です。

見えてきたもの

パラアスリートの雇用にあたっては、障がい者雇用の法定雇用率に関わる社内努力により、新たな予算を組まずに済むように工夫しました。ハードはコストがかかりますが、ハートにコストはかかりません。こうした活動の源になるのが、心のバリアフリーであると私たちは考えます。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社/担当部署:経営企画部/所属人数:4名/住所:東京都渋谷区恵比寿一丁目28番1号/電話:03-5789-6308 (代表)

日本生命保険相互会社



充実した活動で丁寧に育てる「応援したくなる気持ち」

きっかけ

2015年に「東京2020ゴールドパートナー(生命保険)」となり、「Play,Support.～さあ、支えることを始めよう。～」というスローガンを掲げ、パラリンピックへの関心の向上、応援機運の醸成に向けて、協賛している車いすバスケットボールを中心としたパラスポーツ観戦・応援に取り組み始めました。

課題

企業スポーツを応援する文化が根付いているものの、単にパラスポーツを観戦しましょう、盛り上げましょうと一方的に呼びかけるだけでは、なかなか共感してもらえないものです。観戦という行動につなげるためには、まずは、なぜパラスポーツを応援するのかという意識づけが必要だと考えました。

見えてきたもの

「ダイバーシティ推進」に向けた取組の1つとして、気軽に参加できるパラスポーツ観戦・応援を推奨してきました。競技のルールや魅力、大会の見所等の情報発信、一体感醸成に向けた応援グッズの準備等、応援する側の心理を突いた、丁寧な活動が確実に実を結び、これまでに延べ約15,500名が観戦に参加しています。



日本生命保険相互会社 荻野さん

パラリンピックの成功、車いすバスケットボールの認知向上・ファン拡大に向けて、当社役員・職員によるパラスポーツ観戦・応援を推奨するとともに、協賛大会の開催地域では、お客様への観戦・応援の案内活動を行っています。引き続き、多様な価値観を受け容れる共生社会の実現に貢献してまいります。

日本生命保険相互会社/担当部署:オリンピック・パラリンピック推進部/住所:東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

TEAM BEYOND のメンバーになると

さらに!!

パラスポーツ情報満載のメールマガジンが届きます。

パラスポーツの大会や、イベント等の情報を発信します。

特典
1

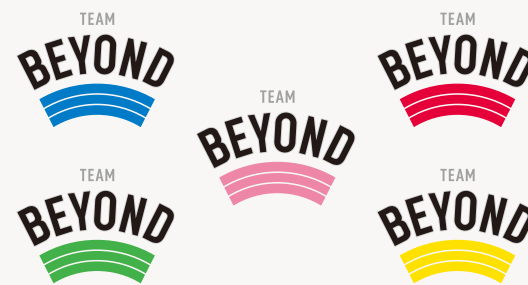
企業・団体のロゴやメッセージが
TEAM BEYOND公式
ウェブページに掲載されます。



特典
2

TEAM BEYOND ロゴの使用

TEAM BEYOND バナーロゴを
企業 HP(相互リンク)や名刺に印刷して
使用することができます。



特典
3

各種パラスポーツイベントの 告知サポート

TEAM BEYOND メンバーになると
企業で実施するパラスポーツ関連の
イベントについて、TEAM BEYOND の
ウェブページ等で告知することができます。



and more...

今後もお役立ち情報・ツールを掲載予定!



TEAM BEYOND メンバーになるには



企業・団体のメンバー登録は以下登録フローをご確認下さい。

登録の流れ

1

ご担当者の方は、
個人メンバー登録を行ってください

2

TEAM BEYOND 企業・団体窓口
〈dantaiinfo@para-sports.tokyo〉へ
メールを送付してください

3

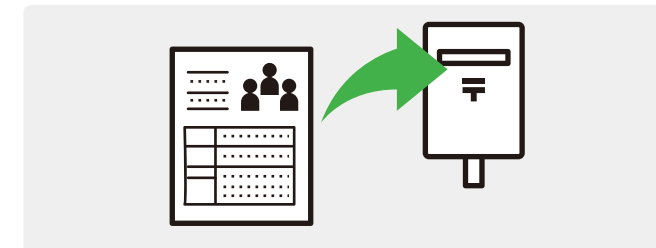
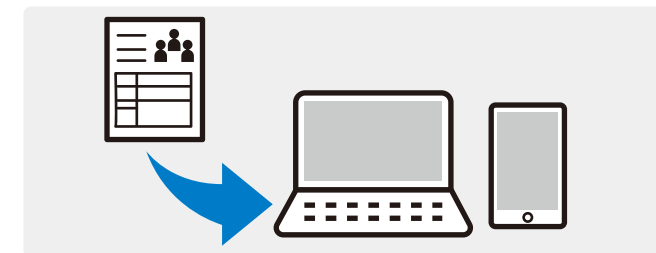
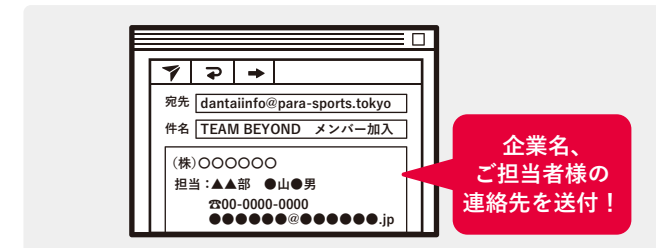
企業・団体メンバー登録の
フォームが届きます

4

必要事項を記載、押印の上、
ご郵送ください
(ウェブページに企業・団体ロゴ掲載を希望する
場合はデータをメールで送付)

審査

登録完了!



※①のご担当者の方の個人登録と、④のフォームのご提出をもって団体登録となります
※ご登録をいただいたアドレス宛てに、月2回程度配信するメールマガジンの内容を、
社内・団体内にご周知ください

「TEAM BEYOND」トップページはこちらから

その他、企業・団体様の取組事例や TEAM BEYOND の活動内容など
随時情報を更新しております。是非ご覧ください。

チームビヨンド

検索

<https://www.para-sports.tokyo/>





東京都

発行月 令和元（2019）年 7 月